

『大阪公立大学大学教育』 執筆要領

2022年4月1日施行

2026年4月1日修正

- 第1条 本誌に掲載される論文等1篇の分量（日本語の表題・著者名、英語の表題・著者名・抄録、日本語および英語のキーワード、図表を含む）は、原則として以下を目安とする。ただし、編集委員会が認める場合はこの限りではない。
- | | | |
|------|--------|--------------|
| 研究論文 | 20000字 | （刷上り12ページ）まで |
| 報告論文 | 10000字 | （刷上り6ページ）まで |
| 資料論文 | 6000字 | （刷上り4ページ）まで |
- 第2条 原稿はワープロソフトで作成し、編集委員会事務局にメールで送付すること。2営業日以内に受け取り確認の返信がない場合は、再送すること。
- 第3条 原稿は次の宛先に送付する。また、編集委員会宛に原稿を送付する際には、高等教育研究開発センターWebサイトに掲載されているチェックリストをダウンロードした上で必要事項を記入し、原稿とともに提出すること。
- 「大阪公立大学大学教育」編集委員会
メールアドレス：gr-las-highedu-kiyou@omu.ac.jp
〒536-8525 大阪市城東区森之宮 2-1-132 大阪公立大学 高等教育研究開発センター 『大阪公立大学大学教育』編集委員会
- 第4条 原稿は、A4判、上下左右に25mmのマージン、1行45文字、1ページ40行というフォーマットで作成すること。なお、本誌の1ページは24字×40行×2段（1段960字）の1920字である。図は1つにつき、半ページから1ページ程度のスペースを必要とするので、適宜本文の字数を減らすこと。
- 第5条 1ページ目には表紙をつけ、論文タイトル（日本語・英語両方）、執筆者（複数の場合は全員）の氏名と所属（いずれも日本語・英語両方）、査読結果等の連絡先（原則はE-mailアドレス）、「研究論文」、「報告論文」、「資料論文」「書評・文献紹介」の区分を記載すること。
- 第6条 2ページ目には、
- 【研究論文】**
冒頭に「論文タイトル」（日本語・英語の両方）、続けて3～5語の日本語および英語のキーワード、300語程度の英語の「抄録」（Abstract）を記載してから本文を始めること。ここには執筆者の氏名を記載しないこと。最後に400字以内で日本語「抄録」を記載すること。
- 【報告論文・資料論文】**
冒頭に「論文タイトル」（日本語・英語の両方）、続けて3～5語の日本語および英語のキーワード、400字以内で日本語「抄録」を記載してから本文を始めること。ここには執筆者の氏名を記載しないこと。報告論文・資料論文には英語の「抄録」（Abstract）はつけなくてもよい。
- 第7条 見出しレベルは節・項・目の3つまでにとどめ、それぞれゴシック体にする。

- 第 8 条 和文は常用漢字・現代仮名遣いを用い、句読点には「、」「。」を用いる。
- 第 9 条 図と表は必要最小限にとどめ、それぞれ連番を付し、簡潔な見出しをつける。
- 第 10 条 投稿原稿の内容が倫理的配慮を必要とする場合は、倫理的配慮や研究対象者への配慮をどのように行ったかを必ず記載すること。
- 第 11 条 研究遂行の過程で用いた手法・方法（情報技術による支援を含む）は、必要に応じて適切な項目を設けて記載すること。
- 第 12 条 原稿の終わりに付記・謝辞等の項目を設けることができる。当該研究の遂行や論文作成に際して、企業・団体等から研究費助成、資料提供、便宜供与などの経済的支援を受けた場合や、開示すべき利益相反がある場合は、ここにその旨を記載すること。
- 第 13 条 注は、本文の末尾に「注」というセクションを設け、一括して記載する。
- 第 14 条 本文中での注の指示は、カギ括弧で連番を付して示す。例：[1]、[2]、…
- 第 15 条 本文中で引用された文献は、注のセクションの後ろに「引用文献」というセクションを設け、アルファベット順にすべて漏れなく記載すること。
- 第 16 条 本文中での引用文献の指示は、著者名・刊行年を小括弧に入れ、カンマで区切って示す。その際、外国人名は原語で表記する。例：（青木, 1993）、（Smith, 2002）
- 第 17 条 同じ著者で同一刊行年の文献を複数引用する場合は、それぞれ刊行年の後ろにアルファベットを付して区別すること。例：2004a, 2004b, …
- 第 18 条 「引用文献」のセクションでは、各文献は以下のようなスタイルで記述すること。

引用文献のスタイル

（1）著書

日本語文献：著者名 (刊行年), 『著書名』, 出版社.

欧米文献：Surname, Initials. (Year), *Title*, Publisher.

大阪太郎 (2004), 『現代大学教育論』, 東京教育問題出版.

Osaka, T. (2004), *Modern Higher Education*, Macmillan.

（2）編著書の分担執筆論文

日本語文献：著者名 (刊行年), 「論文(章)タイトル」, 編者名『著書名』所収, 出版社, ページ.

欧米文献：Surname, Initials (Year), “Title,” in Editor’s Surname, Initials (Ed.), *Title*, Publisher, Pages.

大阪太郎・神戸和夫 (1999), 「大学における初年次教育の課題」, 関西三郎・近畿次郎編著『現代の大学教育問題』所収, 教育時事出版, 63-86.

Osaka, T. and Kobe, K. (1999), “Debating on the first year experiences in university,” in Kansai, S and Kinki, J. (Eds.), *Issues on Modern Higher Education*, Prentice-Hall, 63-86.

（3）雑誌などに掲載された論文

日本語文献：著者名 (刊行年), 「論文名」, 『雑誌名』, 巻数, 号数, ページ.

欧米文献：Surname, Initials (Year), “Title,” *Journal*, Volume, Number, Pages.

京都雅夫 (2001), 「大学における専門教育」, 『大学教育研究』, 第 2 卷, 第 11 号, 13-20.
Kyoto, M. (2001), “Expertise education in university,” *Research for Higher Education*, Vol. 2, No. 11,
13-20.

- 複数の著者がいる場合は、省略せずに全員を記載すること。なお、欧米文献で複数の著者がいる場合、2 人目以降の著者名もすべて **Surname, Initials** の順で記載すること。
- 英文の組織名・雑誌名等は、省略せずに正式名称で記載すること。
例：(誤) AERA → (正) American Educational Research Association